

2018年度 第2回 9月 九大本番レベル模試

日本史・採点基準 記述・記号部分

〔1〕 古代の石碑（2点×7＝14点）

*注意事項・許容解など
特になし。

〔2〕 臨済宗と来日した臨済僧（2点×7＝14点）

*注意事項・許容解など
特になし。

〔3〕 江戸時代の女性と村の相続（2点×7＝14点）

*注意事項・許容解など
特になし。

〔4〕 近代の日本と外国人の記録（2点×7＝14点）

*注意事項・許容解など
特になし。

論述部分

◆添削記号◆

九大本番レベル模試・日本史の採点では、次のような添削記号を用いています。

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1. <□□□□> | 加点要素 |
| 2. □□□□
<u>~~~~~</u> | 表現に難あり |
| 3. □□ [∨] □□ | 文要素の欠落／脱字 |
| 4. □□ ^x □□ | 誤字（略字を含む） |
| 5. <u>□□□□</u> ^x | 内容に誤りあり |
| 6. 「□□□□」 | 設問要求に答えていない |

◆共通の基準◆

1. 採点基準においては加点要素を、**3点**のものは太字・アミカケ□□で、**2点**のものは二重線□□で、**1点**のものは下線□□で、それぞれ示している。採点に際しては常に前後の文脈に留意する（◎で示した事項、（ ）内に示した事項に内容が反していないかを確認する。許容する事例や例外的対応などについては※で示してある）。
2. 加点要素の要件を一部しか満たしていない箇所については、それぞれの配点未満の得点を与える。（太字・アミカケ□□→**2点**以内，二重線□□→**1点**，下線□□→**0点**）
3. **歴史用語**（赤字で表示）についての誤字、当て字、漢字で記すべき語句のひらがな・カタカナ表記は、それが加点要素に直接関係する場合、**1点減点**。同一語句・文字がくりかえし誤っている場合は、それぞれを減点の対象とするのではなく、まとめて**1点減点**とする。加点要素とは直接関係しない箇所に誤字・当て字があった場合、減点しない。
4. 欄外に設問記号を記した答案や、句読点のはみだしなど字数がわずかに超過している答案は、本番では無効答案になる可能性もある。しかし、受験生の学力を正確に測定するという観点から、あまりにも明白に指定条件を無視している場合を除き、採点の対象とする。
5. 設問によっては加点要素の合計が配点を超過している場合がある。ただし、各問とも配点を満点としてこれを超える得点は与えない。

〔1〕 古代の石碑（論述部分）

問1 地方に文字文化が広がった理由

◆加点要素の合計5点→5点満点◆

◎文字が広がった理由

- a 文書主義／行政において文書をもちいる …………… 1点以内
- b 国司・郡司〔国司・里長／郡司・里長〕がもちいる …………… 2点以内
- c 戸籍・計帳を作成する …………… 2点以内

問9 渡来人が増加した理由

◆加点要素の合計6点→6点満点◆

◎渡来人の増加の理由

- a 百済の滅亡による …………… 2点以内
- b (百済からの増加は) 白村江の戦いの敗戦による …………… 2点以内
- c 高句麗の滅亡による …………… 2点以内

〔2〕 臨濟宗と来日した臨濟僧（論述部分）

問7 日明貿易

◆加点要素の合計11点→11点満点◆

◎日明貿易

- a (明に) 朝貢する形式 …………… 2点以内
- b (明に) 勘合を持参する …………… 2点以内

◎日明貿易の推移

- c 足利義持が中断して足利義教が再開した …………… 2点以内
※大名が日明貿易を主導した時期以後のこととした場合は非加点
- d (貿易再開後) 堺の商人と結ぶ細川氏と博多の商人と結ぶ大内氏が行った …………… 3点以内
※「(貿易再開後) 堺の商人と結ぶ細川氏と大内氏が行った」「(貿易再開後) 細川氏と博多の商人と結ぶ大内氏が行った」は2点
※「(貿易再開後) 細川氏と大内氏がおこなった」は1点
- e 寧波の乱ののち大内氏が独占した …………… 2点以内
※大名が日明貿易を主導した時期以前のこととした場合は非加点

〔3〕 江戸時代の女性と村の相続（論述部分）

問2 近世社会の基本原則に関する法令

◆加点要素の合計8点→7点満点◆

◎「この法令」

- a 刀狩令 …………… 2点以内
- b 豊臣秀吉による …………… 1点以内
- c 大仏の造立を名目とした …………… 1点以内
- d 一揆の防止と年貢〔税／財源〕の確保を目的とした …………… 2点以内
※「農民を農業に専念させることを目的とした」は1点（上の1行の加点要素が示されていない場合のみ）
- e 兵農分離を目的とした …………… 2点以内
※「身分を明確にすることを目的とした」は1点

問3 三行半

◆加点要素の合計5点→4点満点◆

◎三行半の評価（以前）

- a （夫が一方的に）離婚する権利をもつことを示すもの …………… 2点以内

◎三行半の評価（現在）

- b （夫が妻に）再婚を許可する〔離婚を承諾する〕書面 …………… 1点以内
- c （夫が離婚に際して妻に）発行する義務があるもの …………… 1点以内
- d （夫が）妻の立場を尊重していたことを示すもの …………… 1点以内

〔4〕 近代の日本と外国人の記録（論述部分）

問2 1860年に鑄造した小判

◆加要素の合計7点→6点満点◆

◎1860年に鑄造した小判

- a 万延小判 …… 2点以内
- b (従来の小判より) 品質を落としたものだった …… 1点以内
- c 小判の流出を防止する〔金銀比価問題を解決する〕ために鑄造された …… 1点以内

◎1860年の小判の鑄造がもたらした影響

- d 物価の上昇をもたらした …… 1点以内
- e 人びと〔武士〕の生活を圧迫した …… 1点以内
- f 攘夷運動〔尊王攘夷運動／外国人襲撃事件〕をひきおこした …… 1点以内

問7 中国大陸で起こった紛争

◆加要素の合計6点→5点満点◆

◎「中国大陸で起こった紛争」

- a 北清事変 …… 2点以内
- b 義和団による事件が契機となった …… 1点以内
- c 列国〔連合軍〕が清に勝利した …… 2点以内
- d 北京議定書を締結した …… 1点以内